



## 春の入隊者を家族とともに激励

東京地方協力本部台東出張所（所長 武下3等陸佐）は4月6日に武山駐屯地、7日に朝霞駐屯地で実施された一般曹候補生入隊式において、新入隊員への激励及び家族支援を実施した。

両日とも朝から澄みきった青空が広がり、満開の桜の下、台東出張所から入隊した隊員は皆はつらつとした表情で入隊式に臨んでいた。

第117教育大隊（武山）第339中隊に入隊した樫2士は、両親と祖父母が見守る中、真新しい制服に身を包み、家族に対するこれまでの感謝と今後の抱負を述べ、また、女性自衛官教育隊（朝霞）第1中隊に入隊した千葉2士は「頑張ります！」と今後の自衛隊生活に向けて決意を新たにするとともに、「今後の募集広報活動にも積極的に協力したい」と、同期とともに笑顔で答えていた。

台東出張所では、今後も募集対象者やその家族等への細かな対応を心がけ、関係部隊等と連携して各種施策を推進して、一人でも多くの方々に自衛隊に関心を持ってもらい、募集基盤の強化及び拡大に繋げていきたいとしている。



## 舎人公園千本桜まつりで募集広報

東京地方協力本部足立地域事務所（所長 松本2等陸尉）は4月6・7日の2日間、足立区の春の恒例イベントである「舎人（とねり）公園千本桜まつり」において、第1普通科連隊及び東京都隊友会足立支部等の支援を受け、自衛官の募集広報活動を実施した。

両日とも天候に恵まれ、会場には足立区民のみならず、都内及び近隣の各県から延べ約20万人が来場し、自衛隊のブースにも多数の方が足を止めて、展示された軽装甲機動車等の自衛隊車両及び災害派遣等の写真展示に見入っていた。

特に、広報ブースと併せて隊友会が開設した「ちびっこ着せ替えコーナー」では、小さな子供達などが迷彩服を着て偵察用バイクと記念撮影ができるとあって、家族連れなどで行列となり、自衛隊に対する感心の高さがうかがえた。

参加した家族は「今日はとても良い記念になりました。ありがとうございました」と感謝の言葉と併せて、「自衛隊さん、これからも頑張ってください」との自衛隊への励ましを述べた。

足立地域事務所では今後も地域に密着した募集・広報活動を積極的に実施し、関係部隊等と連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する足立区民等の理解と関心を高め、自衛官募集活動の業務に繋げてゆくとしている。



## 新小岩駅前に広報ブースを開設

東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 山本2等陸尉）は、4月15日から19日の間、JR総武線新小岩駅南口に広報ブースを開設し、幅広い年齢層を対象とした自衛官募集及び広報活動を実施した。

広報ブースでは、平成28年熊本地震や平成27年関東豪雨災害における災害派遣等の自衛隊の活動パネルの展示、ライブハックの映像を放映するとともに、高校生をはじめ対象年齢に近い該当者には事務所案内及び募集種目を紹介したチラシなどを配布して積極的に自衛隊を広報した。

広報ブースには地元の高中生や募集対象年齢の子供を持つ母親など多くの方が足を止め、広報官に災害派遣活動等について質問したり、採用種目の説明などを熱心に聞き、自衛隊に関する認識を深めた様子であった。

また、期間中には、葛飾区の防災担当者などが会場を訪れ、地域の特性に応じた募集広報に関して意見交換などを行った。

来訪者からは「自衛隊のイベントに参加してみたい」「自衛隊を受験してみたい」等の感想が聞かれたとともに、45件の対象者情報を獲得することができた。

新小岩募集案内所が担当する葛飾区や周辺地域には自衛隊の駐屯地等が存在せず、自衛隊の活動を目的とする機会が少ない地域ではあるが、今後も新小岩募集案内所では地域に密着した募集・広報活動を積極的に実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

